

先進地視察報告

浪江町・福島高度集成材製造センター（FLAM）

全国木材産業振興大会の翌日（10月28日）、島崎会長以下7名で先進地視察を行いました。視察先は福島高度集成材製造センターで、この施設を管理運営する株式会社ウッドコア（本社・浪江町）様にご案内いただきました。

この施設は、震災復興事業の一環として、原木加工から集成材までを一貫生産できる国内最大規模の施設として整備されました。

当日は、原木置き場から製材機、大型乾燥機を見た後、①「ラミナ選別ライン」（強度・材面選別）、②「フィン

ガージョイントライン」（縦継ぎ接着）、③「ラミナ仕上げ多段コンベアライン」（ラミナ仕組み）、④「高周波プレスライン」（積層接着）、⑤「製品仕上げライン」（定寸カット、四面削り）、⑥「メカプレス」（二次接着プレス）、⑦「製品仕上げ、組み立てヤード」、⑧「CNC加工機フルトラ」（部材のフレカット）など最先端の集成材製造工場を見学しました。



集成材製造工場

非住宅の木造建築が注目される中、中大断面集成材の量産につながる可能性を感じ、大変有意義な視察となりました。

連載

会員事業所訪問（5） 春日部木材商組合

笠井木材株式会社

会員事業所を毎号ご紹介するコーナーです。連載5回目。今回ご紹介するのは、笠井木材株式会社です。

人・家・街のしあわせを作る会社

笠井木材株式会社は、昭和46（1971）年の創業以来、五十余年に渡り、地元である埼玉県春日部市に根を生やしてきた会社です。その事業は文字通り木材を柱として、様々な広がり続けてきました。基本事業である「木材・住

宅機器の販売」は、創業50年の歴史が積み重ねてきた経験と知識に裏打ちされた、熟練のスタッフが対応。現在の主要事業である「一戸建て住宅の新築・リフォーム」においては、柔らかな手触りと温もりを溢れた木材が醸し出す「安らぎと伝統」と、使いやすさと居心地の良さに加えて、安全性を重んじた「現代性」という、双極にある二点を融合させた「理想の家」づくりを、お客様と徹底的に話すことで叶えることを目指しています。



会社の社是。それを守りながら、常にお客様と対話を重ね、一緒に考えながら、「お客様が住まう・仕事をする場所」として最も心地よい場所を提供することこそが目標です。

「人・家・街のしあわせを作る会社」。そのコピーに嘘がない仕事を、今日も、これからも目指します。

10月8日の「木材利用促進の日（木の日）」に、JR浦和駅前の商業施設「CORSO」において、木の日のイベントを実施しました。当日は土曜日ということもあり家族連れが多く、買い物の合間に立ち寄ってくださる方々で賑わいました。

木のおもちゃで遊べる広場の設置、クイズやゲーム、木材協会の活動のPRを行い、「木の良さ」を体感していただきました。

木の日のイベント

笠井木材株式会社様、お忙しい中ご対応いただき、ありがとうございました。



プロ養成講座

埼玉県木造公共施設推進協議会（事務局・埼玉県木材協会）が主催の「中大規模木造建築 地域を育てるプロ養成講座」を、6月から10月まで全5回開催しました。

参加者は県市町村職員をはじめとする38名で、建築士以外の方も多くいらしていました。

木工工作コンクール

第43回埼玉児童・生徒木工工作コンクールを、3年ぶりに開催しました。

今回から、学校単位の募集をやめ、WEBによる応募としました。令和2年度、3年度とコロナの影響により開催を見合わせたことから、作品

活動報告

埼玉県木材協会

がどのくらい集まるのか心配していましたが、県内各地から103作品の応募がありました。このうち二次審査に進んだ59作品の展示を埼玉県農林公園で行い、埼玉県知事賞2点、埼玉県教育長賞1点、日本木材青年団体連合会会長賞1点、埼玉県木材協会会長賞10点ほかを選考しました。また、左記の3作品は、日本木材青年団体連合会主催の全国コンクールに出品しました。

がどのくらい集まるのか心配していましたが、県内各地から103作品の応募がありました。このうち二次審査に進んだ59作品の展示を埼玉県農林公園で行い、埼玉県知事賞2点、埼玉県教育長賞1点、日本木材青年団体連合会会長賞1点、埼玉県木材協会会長賞10点ほかを選考しました。また、左記の3作品は、日本木材青年団体連合会主催の全国コンクールに出品しました。



埼玉県知事賞（小学校の部）



埼玉県知事賞（中学校の部）



埼玉県教育長賞

彩の木補助事業交付申請状況

令和4年度彩の木補助事業の交付申請状況を報告します。

彩の木補助事業の実施は、今年度で9年目となります。会員のみなさまのお陰を持ちまして、県内の多くの工務店に浸透してきました。

しかし、ウッドショックの影響を大きく受けた令和3年度と同様に、今年度も残念ながら受付件数は伸び悩んでいます。

今年度は、「一般枠」「子育て世帯枠」「梁桁枠」「森林認証材・JAS材枠」の4つの区分で、昨年6月1日から受け付けを開始しました。

6月は70件を超える申請がありました。その後は毎月10件台と低迷し、1月25日現在の申請状況は、下記のとおりとなっています。

今年度の特徴として、建築（施工）工務店に大きな偏りがあり、全件数169件のうち109件が5社で占められています。



る状況です。つまり、全体の工務店数が例年に比べて少なく、今年度の新規工務店数も例年の半分の9社にとどまっています。

埼玉県産木材を利用している建築（施工）工務店等に積極的なお声がけいただき、是非彩の木の補助事業をご活用いただければ、より更なるPRをお願いいたします。

なお、交付申請の受付期間は、令和5年2月3日（金）必着となっております。

お問い合わせ・相談は、埼玉県木材協会
048（802）25608
まで、どんな些細なことでも遠慮なくどうぞ！



さいたま県産木材

1月25日現在の状況

予定数	100件程度
受付数	83件
《子育て世帯枠》※5万円の加算あり	
予定数	70件程度
受付数	38件
《梁桁枠》※5万円の加算あり	
予定数	200件程度
受付数	46件
《森林認証材・JAS材枠》※5万円の加算あり	
予定数	10件程度
受付数	2件
【合計】	
予定数	200件程度
受付数	169件(昨年度185件)



宅機器の販売」は、創業50年の歴史が積み重ねてきた経験と知識に裏打ちされた、熟練のスタッフが対応。現在の主要事業である「一戸建て住宅の新築・リフォーム」においては、柔らかな手触りと温もりを溢れた木材が醸し出す「安らぎと伝統」と、使いやすさと居心地の良さに加えて、安全性を重んじた「現代性」という、双極にある二点を融合させた「理想の家」づくりを、お客様と徹底的に話すことで叶えることを目指しています。

質実住宅を趣向とするお客様たちの「一度はこんなところに住んでみたい」を実現する、美しい「木造質実集合住宅の建築」や、伝統技術をつ

・役立つ仕事はすべて、価値あるものと認識する

・常に「高潔さ」を持って仕事に取り組み

・次世代のキャリア目標を支援・指導する

社員一同が常にご約束を念頭におきながら、お客様と、社会と向き合うことが、笠井木材という

行事予定

令和5年4月28日（金）
一般社団法人埼玉県木材協会 理事会
場所：浦和コミュニティセンター（JR浦和駅）
令和5年5月19日（金）
一般社団法人埼玉県木材協会 総会
場所：埼玉会館（JR浦和駅）